

- 問1 日本の農業では、消費者の需要の変化に合わせ、従来の品種とは異なる特徴を持つ農産物の開発が進められています。梅の品種である「露西（つゆあかね）」は、果皮や果肉が赤く、従来の梅に比べて酸味が弱いという特徴を持っています。このような特徴を活かし、露西が主にどのような目的で活用されているか、最も適切な説明を選びなさい。（2025年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
| 1. 主食の代わりとして消費するため
の大規模な生食用出荷 | 2. 保存性を高めるために海外へ輸出
する乾燥果実の原料 | 3. 鮮やかな色味や風味を活かした飲
料やジャムなどの加工用 | 4. 伝統的な手法による塩分濃度の高
い梅干しの製造 |
|----------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|-------------------------------|
- 問2 1970年代以降、日本の工業は従来の臨海部から内陸部へと広がりを見せました。このような工業の分散と内陸化が進んだ背景と、その特徴について説明した文として最も適切なものはどれですか。（2016年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 地価の高騰により都市部での操業
が困難になったため、広大な土地を
必要とする造船所や製紙工場が、水
資源の豊富な内陸部に移転した。 | 2. 高速道路などの交通網が整備され
たことにより、部品の輸送が容易な
機械工業を中心として、内陸部での
工業団地の開発が進んだ。 | 3. 鉄道網の整備により大量の原材料
を安く運べるようになったため、製
鉄所や石油化学コンビナートが山間
部の工業用地に次々と建設された。 | 4. 石油ショックをきっかけにエネ
ルギー資源の輸入が途絶えたため、原
料を必要としない伝統的な工芸品を
製造する工場が内陸部に分散した。 |
|---|--|--|--|
- 問3 仙台市の中心部に位置する行政区の統計において、夜間に住んでいる「夜間人口」に比べ、昼間にその区に滞在している「昼間人口」が大幅に多くなる傾向が見られます。この理由として、都市の機能の観点から最も適切な説明を選びなさい。（2026年 群馬県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大規模な都市では、夜間はすべて
の住民が市の外へ出なければならな
いという決まりがあるため | 2. 郊外の住宅地から、区内にあるオ
フィスや商業施設へ通勤・通学する
人々が流入するため | 3. 行政区が設置されたことにより、
都心部への居住が法律によって厳し
く制限されているため | 4. 夜間になると都心部の定住人口が
急激に増加し、周辺の区へ移動する
傾向があるため |
|--|---|--|---|
- 問4 茨城県や千葉県などの統計において、東京都などの人口が集中する地域への野菜の出荷額が高い傾向にあります。このように、大消費地の近くであることを生かし、新鮮さが求められる農産物を低い輸送コストで供給する農業の名称として適切なものはどれですか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）
- | | | | |
|---------|---------|---------|-----------|
| 1. 促成栽培 | 2. 抑制栽培 | 3. 近郊農業 | 4. 施設園芸農業 |
|---------|---------|---------|-----------|
- 問5 日本の発電において中心的役割を担っている火力発電は、その燃料となる石炭や液化天然ガス（LNG）の大部分を海外からの輸入に依存しています。日本のエネルギー資源をめぐる現状と自給率について説明した文として、最も適切なものを選びなさい。（2025年 高知県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 国内で産出される化石燃料が乏し
く、発電に必要な資源のほとんどを
船舶による海上輸送で調達している
ため、自給率は極めて低い。 | 2. 環境保護の観点から、国内の森林
資源を火力発電の燃料として利用す
ることを優先しており、化石燃料の
輸入は一時的に停止している。 | 3. 原子力発電の割合を飛躍的に高め
る方針により、国内での石炭採掘が
法律で禁止されたため、燃料のすべ
てを輸入で賄っている。 | 4. 国内に豊富な石油資源があるもの
の、国内で精製するよりも海外から
製品として輸入の方が安価である
ため、あえて自給率を下げている。 |
|---|--|---|---|
- 問6 三重県尾鷲市の統計において、総人口が約2万3000人から約2万人へと減少し、同時に老年人口（65歳以上）の割合が高まっている状況が確認されました。このような課題を抱える自治体が、地域の活力を維持するために行う施策として、最も適切なものはどれですか。（2016年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|---|
| 1. 特産品を活用した観光振興や、U
ターンによる移住促進を行う | 2. 自然環境を守るため、地域内での
あらゆる経済活動や開発を禁止する | 3. 若者が都市部で働けるよう、大都
市への積極的な移住を勧める | 4. 行政コストを削減するため、水道
や電気などの公共インフラ供給を停
止する |
|-------------------------------------|--|-------------------------------------|---|
- 問7 三大都市圏を除く地域において、バスの輸送人員が減少し路線の廃止が進む一方で、国内の宅配便取扱数は急増しています。このような状況を背景に、宮崎県などで実施されている「貨客混載」の仕組みについて述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2022年 滋賀県公立入試 類似）
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. バス会社が宅配業務を独占的に
行うことで、地域の物流コストを大幅
に引き上げることが目的としている
。 | 2. 宅配便の増加に対応するため、既
存のバス路線をすべて廃止し、貨物
輸送に特化した道路を整備している
。 | 3. 荷物の重量を利用してバスの走行
を安定させ、乗客の安全性を高める
ことを最大の目的としている。 | 4. バスの空きスペースを活用して荷
物を運ぶことで、物流の効率化と公
共交通の維持を両立させている。 |
|---|---|--|---|
- 問8 1970年代には天然ゴムや魚介類が中心であったタイから日本への輸入品目について、2018年の統計で最も大きな割合を占めるようになり、タイの工業化を象徴している品目は何ですか。（2022年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 衣類および繊維製品 | 2. 鉄鋼および非鉄金属 | 3. 機械類や自動車部品 | 4. 原油および天然ガス |
|--------------|--------------|--------------|--------------|
- 問9 世界各国が、太陽光や風力といったエネルギー源の導入を拡大し、「脱炭素」に向けた取り組みを強化している背景として、最も適切な説明はどれですか。（2025年 長野県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 火力発電のみを維持し続けること
で、既存の石油インフラの価値を最
大限に高めるため | 2. 温室効果ガスの排出を抑えること
で、地球温暖化を防止し、気候変動
を食い止めるため | 3. 原子力発電への全面的な転換を図
ることで、エネルギーの自給率を10
0%にするため | 4. 化石燃料の価格が急落したため、
より安価な天然ガスの利用を世界的
に停止するため |
|--|--|--|---|
- 問10 日本の農業に関する統計において、都道府県別の産出額の割合が新潟県で8.7%、北海道で7.0%、秋田県で5.7%、茨城県で4.9%、山形県で4.4%となっている農産物の区分はどれですか。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
- | | | | |
|------|-------|-------|--------|
| 1. 米 | 2. 野菜 | 3. 果実 | 4. 肉用牛 |
|------|-------|-------|--------|
- 問11 1970年から2015年にかけての日本の水産業の推移について、遠洋・沖合・沿岸漁業の漁獲量が減少傾向にあるなかで、国内需要を補うために急激に増加した数値はどれですか。（2024年 香川県公立入試 類似）
- | | | | |
|------------|----------------|------------|-------------|
| 1. 漁船の保有台数 | 2. 日本国内の真珠の生産量 | 3. 水産物の輸入量 | 4. 漁業従事者の総数 |
|------------|----------------|------------|-------------|
- 問12 日本の農業における耕地面積の規模と、新技術導入のコストの関係について述べた文として、正しいものはどれですか。（2025年 福岡県公立入試 類似）
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. 耕地面積の規模が小さくなるほど
、機械利用などにかかる面積あたり
の経費が上昇する傾向がある。 | 2. 日本の農家の過半数は大規模経営
であるため、新技術の導入によるコ
スト負担の問題は解消されている。 | 3. 耕地面積が小さい農家ほど、少な
い投資で最新の農業機械を効率よく
使いこなせることが統計で示されて
いる。 | 4. 農業機械の導入コストは耕地面積
の大きさに完全に比例するため、面
積が小さいほど負担も軽くなる。 |
|--|--|---|---|